

2006年3月17日

報道関係各位

東北大学国際高等研究教育機構が4月から発足

東北大学

東北大学（仙台市、総長：吉本高志）は、本年4月1日から「国際高等研究教育機構」を発足させます。

従来から、我が国にも欧米の有力大学院と真に競い合えるような世界水準の大学院を設置する必要があるとの指摘がなされ、又、ポスドクの若手研究者については、世界をリードする研究者としてひとり立ちさせるためのシステムティックな養成の在り方が各国で模索されてきました。東北大学の「国際高等研究教育機構」は、これらの課題に一つの総合的解答を提示するものです。

1. 国際高等研究教育機構の組織

本機構には、大学院教育を行う「国際高等研究教育院（Institute for International Advanced Research and Education）」と、ポスドクの若手研究者が研究に従事する「国際高等融合領域研究所」（仮称）と、本機構の運営及び企画・戦略立案を担う「総合戦略研究教育企画室」の3つの組織が置かれます（図1参照）。この中、本年4月には、学内措置として「国際高等研究教育院」（初代院長として井上明久副学長が本年4月1日に就任の予定）と「総合戦略研究教育企画室」をスタートさせ、「国際高等融合領域研究所」（仮称）については、概算要求の上、平成19年度（2007年4月）から設置する予定です。

2. 国際高等研究教育機構における研究教育

「国際高等研究教育院」に選抜された大学院生（以下、「研究教育院生」という）及び「国際高等融合領域研究所」（仮称）に所属する若手研究者（以下「特別研究員」という）は、各自、自然科学から人文・社会科学にまたがる5つの新融合研究領域（図2参照）の中のいずれか1つを選択して、「創造的総合知」を備えた、21世紀の学術をリードする研究者を目指して、研鑽を積むことになります。本機構の教員陣は、現在、本学で採択されている13の21世紀COE研究プロジェクトで最先端の研究に従事している研究者を中心に構成されます（具体的な研究教育課程については図3、国際高等研究教育院における研究教育院生の研究指導体制については図4を参照）。

研究教育院生・特別研究員は、奨学金・研究支援費の支給をはじめとする様々な支援が与えられることになっており（図5参照）安定した条件の下で意欲的に研究に取り組むことができます。

研究教育院生・特別研究員として毎年選抜される数は、当初は、少数に止まっていますが（図3参照）既成のディシプリンにとらわれない新たな発想に基づく、世界最高水準の研究教育に参画するという魅力に加えて、上記のような恵まれた条件が整えられますので、国内外、学内外から多数の応募が殺到する事態も予想されます。

3. 国際高等研究教育機構の特長

「ポスト21世紀COEプログラム」へのアグレッシブな挑戦

現在、本学からは、自然科学から人文・社会科学にわたる13の21世紀COEプログラムが採択され、海外の有力研究教育機関とも連携しながら、それぞれの分野で世界

最先端の研究教育を展開しています。21世紀COEプログラムは、いずれも5年間の時限が付されており、現在「ポスト21世紀COEプログラム」の在り方が全国的課題になっています。そこで、これまで既に、一部の研究教育領域に限定した「ポスト21世紀プログラム」の提案もいくつか出されています。

それに対し、本「国際高等研究教育機構」は、上記13の21世紀COEプログラムの成果を結集して、新たな新融合領域を創出し、それを全学的な研究教育組織に結実させるというもので、21世紀の世界の学術の発展への寄与を目指す、本学独自の提案と言えます。

世界と競い合える「スーパー大学院」「ポスドク養成課程」

本機構は、次のような条件を整えることにより、欧米の有力な大学院・ポスドク養成課程と真に競い合えるような研究教育組織への発展を実現します。

- () 世界最高水準の内容の研究・教育を、既存のディシプリンにとらわれない新しい「創造的総合知」の観点から展開する。
- () 現在、本学から採択された13の21世紀COEプログラムで最先端の研究に従事している、海外を含む学内外の研究者が本機構の教員陣を形成する。
- () 奨学金・研究支援費などの面で、欧米の有力大学に匹敵する研究教育支援体制を整える。
- () 上記の諸条件を広く世界に提示して、国内外から優秀で意欲的な大学院生・若手研究者の応募を呼びかける。

既存のディシプリン、研究教育組織にとらわれない「創造的総合知」の探求
「21世紀型エリート」の養成

現在、人類が直面している諸問題（例えば、地球環境破壊）の解決や科学の飛躍的発展のためには、異分野の発想をとり入れた新融合研究領域の創出が不可欠であり、又、そのような新たな研究を展開し、「創造的総合知」を整えた「21世紀型エリート」を養成するための研究教育機関の設立が強く求められています。本機構は、そのような人類社会と科学の要請に正面から応えようとするものです。

東北大学は、2004年4月に国立大学法人として発足するに当たり、「世界最高水準の研究教育拠点」としての発展を目指すと宣言しました。今回、国際高等研究教育機構を設置することによって、本学は、その目標実現に向けて確かな一歩を記すことになるかと期待しております。

添付資料 図1～5

本学から採択された13の21世紀COEプログラムの概要

この件に関するお問い合わせ先 東北大学国際高等研究教育機構 〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 022-795-4353 井原 聡 022-215-2524 佐藤 義幸 まで

図1 国際高等研究教育機構の組織



図2 国際高等研究教育機構の5つの新融合研究領域と研究科・研究所との関連

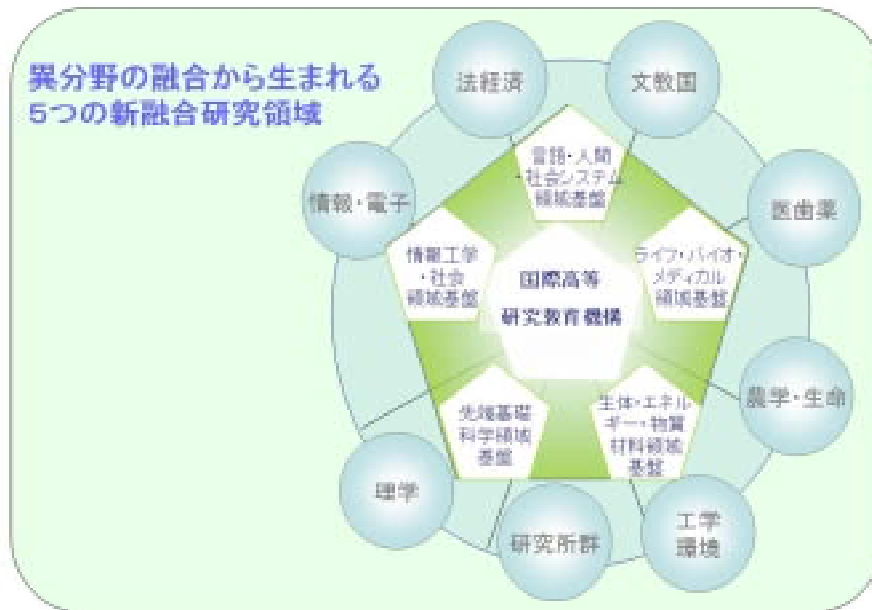
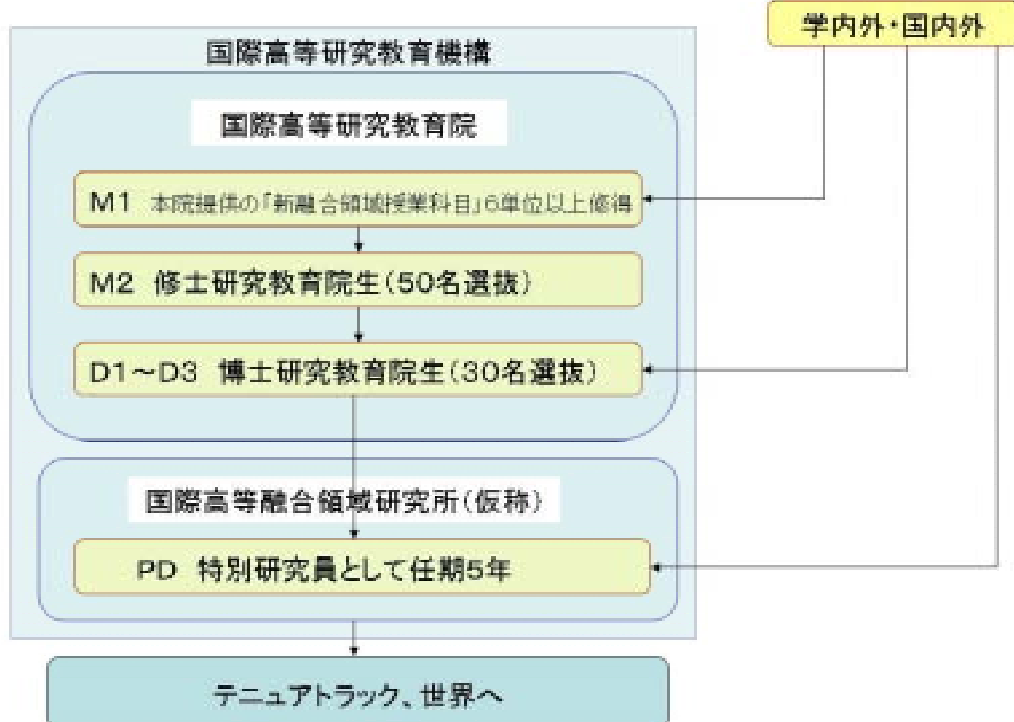


図3 国際高等研究教育機構の若手研究者養成システム



※ 国際高等研究教育院への入学を志望する大学院生は、M1の段階で本院が提供する「新融合領域授業科目」を6単位以上修得し、その中から50名だけが本院の「修士研究教育院生」として選抜されます。

※XX 研究教育院生は、本学大学院の既存の研究科に在籍しながら、同時に国際高等研究教育院にも所属することになります。

図4 国際高等研究教育院における大学院生の研究指導体制

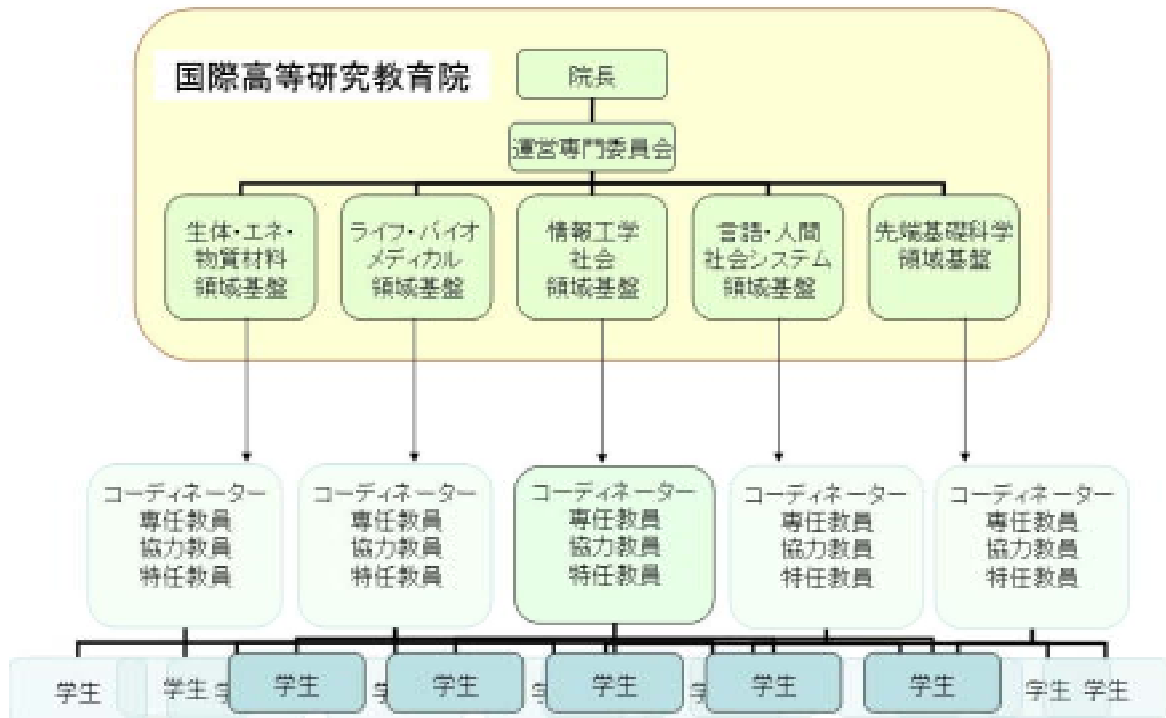


図5 研究教育院生・特別研究員への支援

